

農作物病害虫発生現況情報（8月）りんどう編

1 葉枯病

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は53.8%（平年25.4%）、採花部での発生圃場率は15.4%（平年8.8%）で、いずれも平年より高かった（図1）。

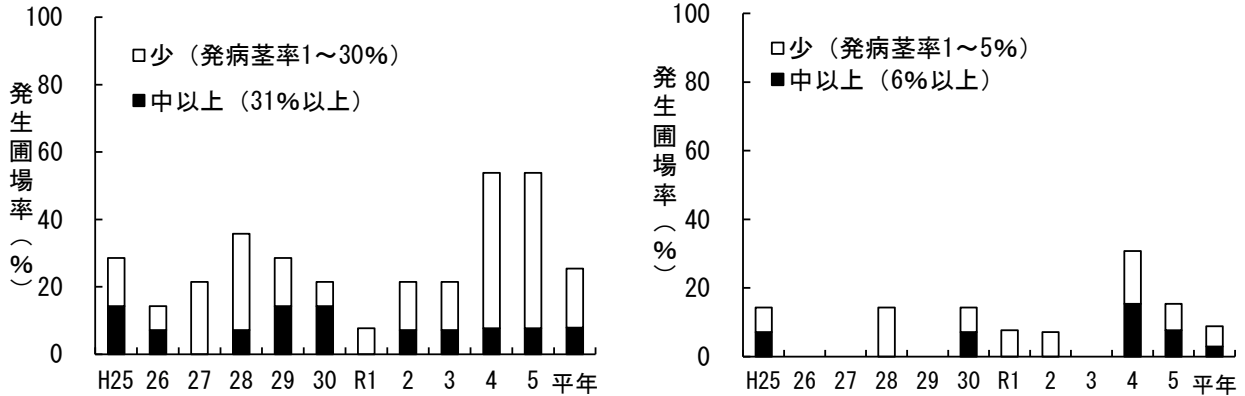


図1 葉枯病の発生圃場率の年次推移（左：発病茎率、右：採花部での発病茎率、8月下旬）

2 褐斑病

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は7.7%（平年2.9%）で、平年より高かった（図2）。

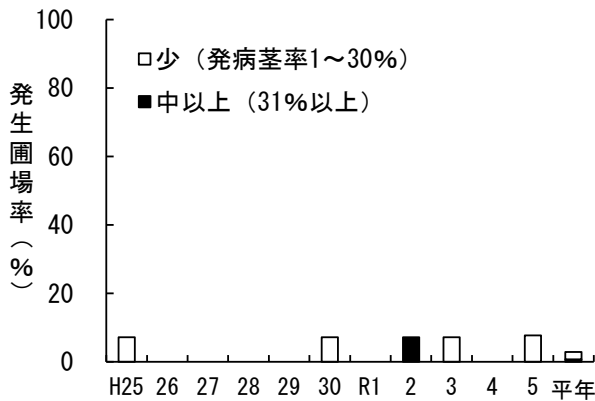


図2 褐斑病の発生圃場率の年次推移（8月下旬）

3 黒斑病

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は30.8%（平年値なし）で、発生程度の高い圃場も確認された（図3）。

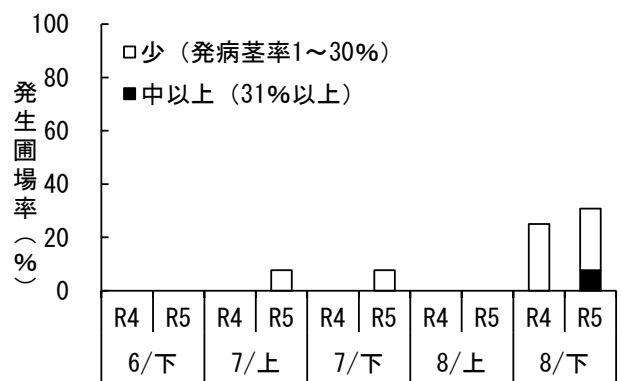


図3 黒斑病の発生圃場率の時期別推移

4 花腐菌核病

(1) 8月下旬の巡回調査では、発病は確認されなかった。

5 ハダニ類

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は30.8% (平年29.0%) で平年並であり、発生程度の高い圃場や寄生虫数の多い圃場は確認されなかった (図4)。

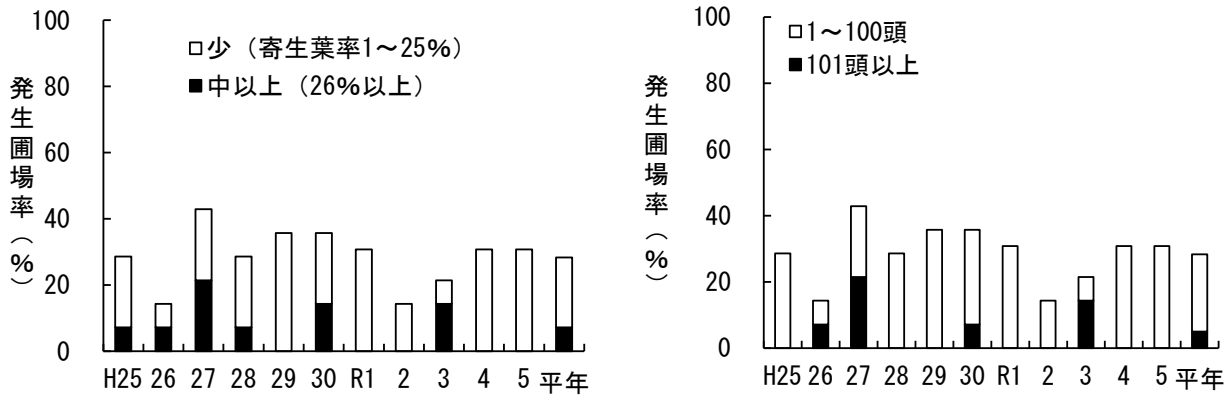


図4 ハダニ類の発生圃場率の年次推移 (左: 寄生葉率、右: 寄生虫数/80葉中、8月下旬)

6 リンドウホソハマキ

(1) 8月下旬の巡回調査での潜葉痕の発生圃場率は23.1% (平年37.3%) で平年より低く、生長部及び茎部の被害は確認されなかった (平年14.5%、図5)。

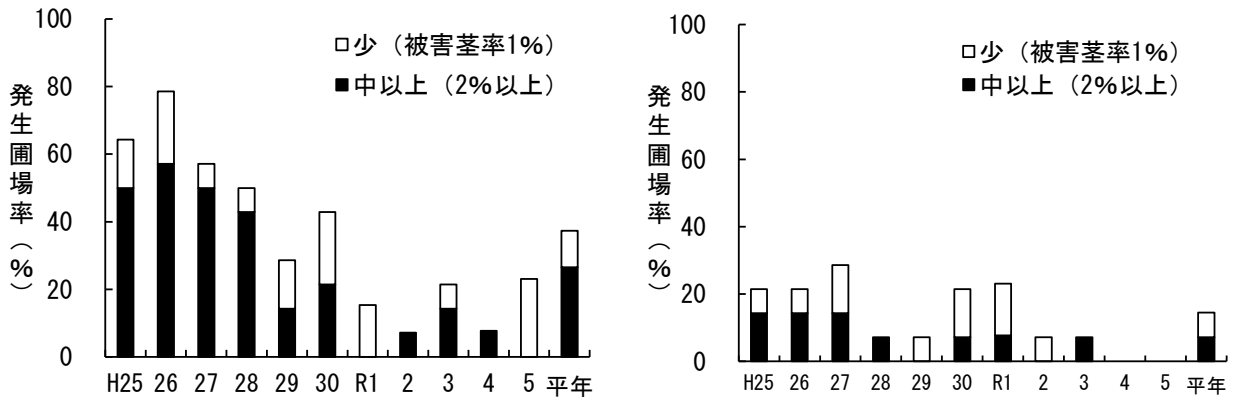


図5 リンドウホソハマキの発生圃場率の年次推移 (左: 潜葉痕、右: 生長部・茎部、8月下旬)

7 アザミウマ類

(1) 8月下旬の巡回調査での発生圃場率は80.0% (平年72.1%) で、平年並だった (図6)。

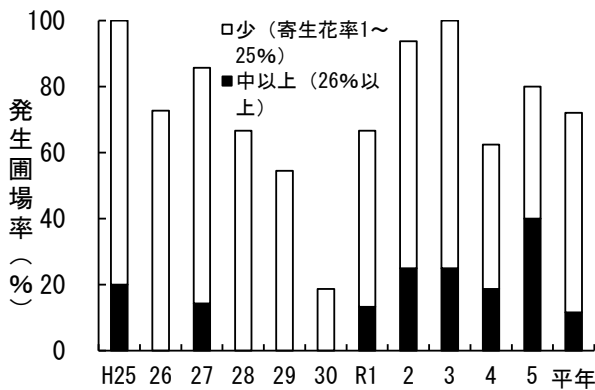


図6 アザミウマ類の発生圃場率の年次推移 (8月下旬)

8 アブラムシ類

(1) 8月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった。